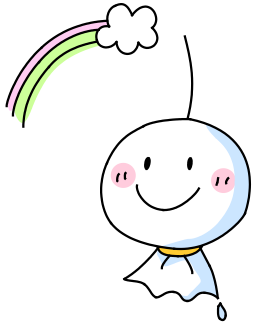




笑顔で一杯の学校に ～学習のユニバーサル・デザイン～

校長 堀越 裕之



先月号でお知らせした「今年度の重点」の一番最初に掲げた「ユニバーサル・デザイン」教育についての続きです。本校でも少しでもこの理念に到達できるように、今年度から「クローバー・スタンダード（八小スタンダード）を策定しました。これは、子どもたちが学年、学級が変わっても同じように学習、生活できるように、学校での学習面、生活面でのルールをできるだけ統一していこうとするものです。まだスタートしたばかりですので十分徹底できているとは言えない状態ですが、少しずつ積み上げていく中で、しっかりと構築していきたいと思っています。最近は様々な場面でこの「ユニバーサル・デザイン」という言葉をお見聞します。しかし、そもそもその「ユニバーサル・デザイン」とはいったいどのようなものなのでしょう？

ユニバーサル・デザインとは、ユニバーサル＝普遍的な、全体の、という言葉が示しているように、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢やしょうがいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいいます。

この言葉や考え方は、1980年代にノースカロライナ州立大学（米）のロナルド・メイス氏によって明確にされ、7つの原則が提唱されています。そこには、①誰でも使えて手にいれることができる（公平性）②柔軟に使用できる（自由度）③使い方が簡単にわかる（単純性）④使う人に必要な情報が簡単に伝わる（わかりやすさ）⑤間違えても重大な結果にならない（安全性）⑥少ない力で効率的に、楽に使える（省体力）⑦使うときに適当な広さがある（スペースの確保）とあります。

最近、戦後の高度経済成長時などにおける、若くて行動に制約のない大人を基準としてきたわが国のものづくり、まちづくりを反省し、各分野において、ユニバーサル・デザインの視点からの設計や基準の見直しが活発になってきています。（ユニバーサル・デザインによる町づくりを推進している三重県の資料より）

私は、何年か前にある保護者の方から「ユニバーサル・デザインの学習」というお話を伺いました。特別な支援を必要とするいわゆる特別支援教育の一つの考え方なのですが、新潟大学教育学部の長澤正樹先生の資料をその方にお借りしました。お話を伺ったときから興味があったのですが、その時は新年度の渦巻きの中でしばらく頭から離れていました。子ども、学校の方も少し落ち着きを取り戻してきたので、そのお借りした資料に目を通していたら、そこに大変興味深いコメントが載っていました。

それは、「支援のポイント すべてのお子さんに共通します！」という表題です。そして先生は、特別支援教育を①自分を好きになる。②人を好きになる。③自分に自信をもち・相手も認める。④自分で問題解決・自分を知る。⑤勉強を好きになる。⑥教師と親が仲良くチームで対応。そして、しょうがいの有無にとらわれず、積極的に支援することです、とまとめています。

「ユニバーサル・デザインの学習」の考え方がとてもよくわかりました。前々から同じように考えていたからでしょう。お会いしたことはありませんが、長澤先生にうまく私の頭の中を整理していただいたような気がしました。細かい手立てはともかくとして、考え方としては今年度の一つの課題として考えています。

どの子にも優しい、学習のユニバーサル・デザイン。それは、「みんなの教室、学習、そして心の中にあります。」と答えられるように少しでも前進していきたいと思っています。



【校内研究～科学的な思考力・判断力・表現力を育てるための指導法～】

本校では、昨年度から引き続き理科・生活科の教科を中心に研究を進めています。研究便り「Fly High」でもお伝えしましたが、今年度も問題解決学習で授業を展開していこうと考えています。

先月26日には6年生の研究授業が行われました。児童が疑問に思ったことを基にして問題を作ったのですが、疑問に思ったことが複数あったため、5年の渡邊主幹教諭が指導者として入り、6年生を2つのグループに分けて問題を解決する授業を展開しました。

今月は16日に2年生が、30日に5年生が研究授業を行います。保護者・地域の方々にも公開をしていますので、どうぞご参観ください。



【ふれあい月間を通して】

東京都教育委員会では、健全育成を目的とした「ふれあい月間」を年3回実行しています。

本校では、6月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」として、子供たちの心のすれ違いが大きなへだたりとならないように、予防対応・未然防止に取り組みます。いじめ防止をするために、言語環境を整え、子供同士がよりよい関係を築くことをねらいとして、6月1日(月)から30日(火)まで「ふれあい月間 思いやり言葉運動」を次のように行います。

- 1 思いやりの言葉づくり週間 [6月1日(月)～5日(金)]
 - ・「思いやり」をテーマに、子供一人一人が標語づくりをする。
- 2 思いやりの言葉紹介週間 [6月8日(月)～30日(火)]
 - ・「思いやりの言葉」を各教室前廊下に掲示し、学年・異学年間で「思いやりの言葉」を共有し、実践に生かしていく。
 - ・各学級で、全校で紹介したい「思いやりの言葉」を決め、ポスターを作る。
 - ・各学級で作成したポスターを1階ロビーに掲示し、子供同士が助け合い、認め合うことの大切さを啓発する。

また、ふれあい月間を中心とし、教員一人一人が子供のよさを認め、不適切な指導のないように教育を進めていきます。教育とは、子供の人権を尊重し、深い理解と愛情により成り立つものであり、不適切な指導は、教員としての指導力の欠如と教育観の誤りを示すものです。今後も、子供一人一人を大切にし、子供のよさや可能性をのばす教育を進めていきます。

6月の行事予定

生活目標 : 「気持ちのよい言葉を使おう」 「みんなでなかよく遊ぼう」

1日(月)	ふれあい月間「思いやり言葉運動」始、安全指導	16日(火)	水泳指導 始、保護者による読み聞かせ会
2日(火)	たてわり班中休み遊び		田植え予備日、校内研究会研究授業(午前授業)
3日(水)	午前授業【特別時程】、ぎょう虫検査		※2年生は、5校時に研究授業を行います。
4日(木)	音楽朝会、避難訓練、委員会活動	18日(木)	図書集会、クラブ活動
5日(金)	クローバー体験学習(3年・さくら) 中学年遠足写真申し込み回収日	19日(金)	学校公開(1～4校時)、セーフティ教室(低・高)
8日(月)	ブラッシング指導(1年) 日光移動教室事前検診(6年・さくら) 水泳指導前健康相談	20日(土)	学校公開(1～4校時)、セーフティ教室(中)、読書週間終 4年安全マップ発表会、いじめ防止授業(4～6年)
9日(火)	尿検査、ブラッシング指導(3年・さくら)	22日(月)	社会科見学(3年・さくら)
10日(水)	日光移動教室(6年・さくら) ブラッシング指導(5年・さくら)	23日(火)	たてわり班中休み遊び
11日(木)	日光移動教室(6年・さくら)、校外学習(1・2年)	24日(水)	遠足(低)
12日(金)	日光移動教室(6年・さくら)、教育実習終	25日(木)	クラブ活動
15日(月)	読書週間始、田植え(5年・さくら)	29日(月)	遠足予備日
		30日(火)	ふれあい月間「思いやり言葉運動」終 校内研究会研究授業(午前授業) ※5年生は、5校時に研究授業を行います。